



第二回『関西留学生合同企業説明会』

第五回『産学国際交流懇親会』

開催レポート

開催日：2018年4月14日

主催：関西留学生国際交流支援連絡会

代表幹事 千田 忠司



2018年4月18日

文責：連絡会事務局 村井 広宣

Report No.005

関西での就職を希望する留学生向けに第二回『関西留学生合同企業説明会』を開催

4月14日（土）、当会2回目となる『関西留学生合同企業説明会』および第五回『産学国際交流懇親会』を難波御堂筋ホールにて開催した。留学生を積極的に採用している企業27社と、就職活動中の留学生202名が集まった。

留学生の就活の問題点として、母国とは違う日本独特の就職活動の仕組みが分からず、企業へのエントリーや説明会への参加、選考在留資格変更の申請が間に合わないということが挙げられる。このような状況を改善するため、昨年より本会の会員企業様や関係企業様にご協力いただき、留学生への指導を行ってきた。今回、4月に合同企業説明会開催を実施し、留学生が早い時期から就職活動を始め、卒業後の就職先を確保するよう促す取り組みの第一歩となった。



今回も、前回同様、留学生を正社員として採用する際は、在留資格の変更手続きを会社で行う企業のみが出展した。

たくさん集まった留学生に、ぜひとも大阪のおいしい料理を食べていただきたいというケータリング協力企業様のご意向により、17時開始を予定していた『第五回産学国際交流懇親会』を急遽15時に開始した。今回も、当会会員の千房株式会社、三和実業株式会社、大起水産株式会社にご協力いただき、来場者へケータリングが振る舞われた。

200名を超える留学生と留学生採用に積極的な27社が集合！

【オープニングセレモニー】

出展企業様向けに説明も兼ねたオープニングセレモニーを行った。幹事6名のご紹介の後、千田代表幹事が「日本が、関西がもっと元気になるように、また企業が活性化するために留学生の雇用を検討いただけたら、この会は成功と思う。今回も、一人でも多くの留学生に採用という夢を与えていただきたい。」と協力を求めた。



留学生の雇用と関西の活性化について熱く語る
代表幹事 千田 忠司氏

続いて、事務局より全体のスケジュール、ブースの運営について説明があり、その後、各出展企業はブースの準備を行った。

【第二回合同企業説明会】

会場入り口には、受付開始時間 30 分前にも関わらず多くの留学生が集まったため、前倒して受付を行った。事前申込者来場特典として、本会オリジナルボールペンが事前申込をした先着 100 名の学生へプレゼントされ、また、来場者先着 150 名に水がプレゼントされた。

受付では、英語、中国語、韓国語、ベトナム語を話す留学生アルバイトが、日本語が不得意な留学生に対応した。母国語での対応により、スムーズに留学生の誘導ができた。



受付の様子



会場前に企業情報を読む留学生の様子

13 時の開始に向け、早めに到着し受付を済ませた留学生は、休憩コーナーで出展企業情報が載った冊子を熱心に読み、訪問する企業を決めていた。就職先となる企業との出会いを求める留学生の期待の熱気が会場に広がった。企業ブースで待つ出展企業のみならず、集まった留学生の数に驚きながらも、留学生の訪問を待ち望んでいた。

13 時の開始前、すでに来場した 150 名ほどの留学生に向け、大阪市長 吉村 浩様よりご挨拶いただいた。吉村市長は、「関西で学ばれた留学生の皆様は、是非とも関西で働いて、活躍いただきたい。留学生の皆様が活かせる企業と出会い採用されることを、また、企業のみならず優秀な留学生の方々を採用されることを望んでおります。この合同企業説明会が、関西の経済と地域の活性化につながる会となることを願っております。」と開催への慶びを述べられた。また、本会および本会関係各所の方々へ日頃の尽力へ感謝の意を示された。



参加した留学生に応援メッセージを送る
大阪市長 吉村 浩氏

中央市長のご挨拶の後、企業ブースが解禁となった。すでに目当ての企業を決めていた留学生は、最初は遠慮がちに企業ブースへ足を運んでいた。訪問する企業に迷っている留学生へは、本会会員の皆様に対応されていた。

会場では、留学生向けに企業情報や会場内の案内などを受付アルバイトの留学生が英語と中国語、ベトナム語でアナウンスした。

今回参加された留学生に対し、この合同企業説明会の情報をどこで知ったかインタビューしたところ、ほとんどの学生が「Facebook 広告を見た」と答えた。次いで、「友達に教えてもらった」、「学校でチラシを見た」という学生が多かった。留学生同士の口コミや SNS での情報収集は根強いようだ。

また、事前申込をせず当日参加した人は、50 名を超えた。友達に誘われ急遽当日参加したようだ。さらに、意欲的に就職活動をしている留学生からは、同日に開催されていた別の合同企業説明会にも行き、こちらの合同企業説明会にも参加しているという話も聞いた。

今回は、新たな試みとして、「就活相談コーナー」を設けた。このブースでは、履歴書やエントリーシートの書き方、面接対策、さらには在留資格の変更などについての相談を受け付けた。こちらのブースでは、これまでの本会の就活セミナーにてご登壇いただいた、三和実業株式会社 常務の三宅伸一氏、学校法人エール学園 キャリア支援室室長の西村康司氏、有限会社リンクコーポレーション 代表取締役社長の牧香代子氏にご担当いただいた。留学生の日本語の理解度に合わせ、丁寧なコンサルタントが行われた。



就活相談コーナーの様子



企業ブースエリアは、瞬く間に留学生でいっぱいになった。控えめな留学生に対しては、企業の方々が声をかけておられた。説明はおよそ 10~20 分でしていただき、多くの留学生に話を聞いてもらえるようにブース説明を回した。企業ブースでは、留学生が座る椅子を増やして対応したが、それでも追いつかない勢いで留学生が詰めかけた。

留学生は、話をきくだけでなく、理解できなかった仕事内容を再度確認したり、自分が学んできたことが活かせるのかといった質問を積極的に聞いていた。



【第五回産学国際交流懇親会】

懇親会冒頭、発起人でもある千房株式会社代表取締役の中井政嗣幹事より、本会立ち上げから今日に至る活動のプロセスとお集まりいただいた方々への感謝の意が示された。また、各種ケータリングのご紹介もいただいた。その後、乾杯（ソフトドリンク）の音頭をいただき、賑やかに宴が始まった。

本会の懇親会では、『大阪の食文化とソウルフードの紹介』、『外食産業の展望と外国人の積極的採用』をテーマに、会員企業の協賛により寿司・お好み焼き・ワッフルが振る舞われた。



ケータリングについての説明もしていただいた
千房株式会社 代表取締役 中井政嗣氏



関西の外食産業界では、海外進出のみならず、インバウンド対応に向けた外国人採用を積極的に推進している。千房株式会社の人事担当者は、「優秀な留学生や即戦力のある外国人を採用し、日本の店舗を視察に来られた海外の方々のアテンドや通訳を任せたい。ケータリング協力が企業について知っていただくきっかけとなれば」と語った。

休憩スペースでは、三和実業株式会社が運営するカフェ英国屋のコーヒーやソフトドリンクが無料で提供された。留学生は、企業ブースで聞いた話をノートにまとめていたり、企業ブースでもらったパンフレットなどを読んだりしており、その姿は真剣そのものだった。

今回の懇親会では、本会の活動について重大なお知らせがあった。それは、4月より始動した、留学生が主体となって活動していく「学生部会（仮称）」だ。学生部会は、『留学生が留学生へ情報発信をする仕組み作り』、『留学生の力で、大阪の地域経済の活性化』をテーマに設立された。

この学生部会立ち上げに向け、2月から4月にかけて、大阪大学と滋賀大学の留学生が集まり学生部会に必要な情報コンテンツやその配信方法について、様々なテーマをもとにディスカッションを重ねてきた。事前準備には、本会の広報部会をご担当いただいている産経新聞社様および株式会社マドック様、また、行政との連携から大阪市経済戦略局の方々にもご協力いただいた。

初代学生部会代表の大阪大学のセントシアーさんは、「今回、K-FISにおいて学生部会を立ち上げるお話をお聞きした時は、とても画期的で私たち留学生にとって必要不可欠なコミュニティになっていくと感じました。ここ大阪で「留学生主体の団体である」ということを大切にしていきたいと思いました。」と、学生部会立ち上げについて聞いた時の思いを振り返った。「留学生への情報発信について K-FIS に関わる方々と話す機会をいただき、K-FIS の活動内容の幅広さを知ることができました」と、懇親会に参加した留学生へ呼びかけた。学生部会についての発表後、学生部会に参加希望の留学生が発表した3人に声をかけていた。学生部会の今後の活躍が期待される。



学生部会発表の様子



今後の会の発展への意気込みを語る
大阪大学 国際教育交流センター
人間科学研究科 教授 近藤 佐知彦氏

懇親会は、大阪大学 国際教育交流センターおよび人間科学研究科の近藤佐知彦教授のご挨拶で締めくくられた。近藤教授は、「このように会が大きくなり嬉しい。日本人でも就職活動でエントリーシートを出しても面接まで進める学生が少ない中で、このように顔を合わせて留学生の人間性を見極めていただける機会を設けていただき、留学生は幸せです。」と、感謝を述べられた。また、留学生に向け「大阪で学び、大阪で働けるようなインフラになっていきたい」と、今後の発展への意気込みを語った。

【事務局あとかぎ】

在留資格変更の際は、本会事務局も手続きに係る書類作成のお手伝いを積極的に行っております。今回の合同企業説明会で採用や在留資格の変更など、手続きについて疑問などございましたら、事務局にご連絡ください。

プログラム催事録

名 称： 第二回『関西留学生合同企業説明会』および第五回『産学国際交流懇親会』
 開催日時： 2018年4月14日（土）13：00～18：00
 開催場所： 難波御堂筋ホール 10 階
 〒542-0076 大阪市中央区難波 4-2-1 難波御堂筋ビルディング
 主 催： 関西留学生国際交流支援連絡会（K-FIS）
 協 賛： 千房株式会社、三和実業株式会社、大起水産株式会社
 後 援： 大阪市、大阪商工会議所
 参加者： 335名 以下内訳

カテゴリー	適 応	人数
出展企業	説明会ブース 出展企業	79名
商店会関係	受益者を統括する団体・組合 など	6名
企業・法人関係	受益者となる企業・法人団体 など	25名
大学・学校法人関係	人材の供給窓口となる法人団体 など	12名
総領事館関係	総領事館関係者	0名
留学生	大学・領事館推薦の留学生 など	202名
行政・経済団体	市役所・商工会議所 など	7名
事業顧問	法政の立場からの意見者及び指導者	2名
メディア	有益な公的情報提供者	2名
合計		335名

留学生種別

学校種別	主な学校名	人数
国公立	大阪大学、大阪市立大学、奈良女子大学、滋賀大学 など 計 11 校	31名
私立	近畿大学、大阪産業大学、関西学院大学、大阪成蹊大学 など 計 25 校	85名
海外	アメリカ、イギリス、香港、インドネシア など 計 7 校	7名
専門学校	エール学園、駿台観光&外語ビジネス専門学校 など 計 18 校	63名
既卒		16名
合計		202名